

## 元気に100歳を迎えました 加藤かんさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈

5月25日に満100歳を迎えた加藤かんさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。現在、大泉記念病院に入院中のかんさん。この日はご家族のほか、病院職員も集まり、全員でかんさんのご長寿をお祝いしました。かんさんは村田町のご出身で、結婚後は6人の子育てに奮闘の日々を送られました。現在は孫が8人、ひ孫が8人います。好き嫌いはほとんどないとのことですが、ネギやニラは苦手とのこと。大好物は「やなぎや(長町)のやわらかシュークリーム」と、しっかりとした受け答えで話してくれました。



▲風間市長と笑顔で話をするかんさん

## 優しさあふれる和紙あかりを自分の手で! 和紙あかり製作ワークショップ



▲思い思いの和紙あかりづくりに取り組む参加者たち

6月13日、壽丸屋敷で「第2回白石和紙あかり製作ワークショップ」(主催:蔵富人)が開催されました。市内外から21人が参加し、木の枝などで骨組みを作り、白石和紙を張り付け、自分だけのオリジナルライトを作りました。3回目のワークショップは7月18日に開催されますので、興味のある方はぜひご参加ください。また、完成した作品は8月10日・11日の両日、夏まつりに合わせて壽丸屋敷に展示され、幻想的なあかりの共演を楽しむことができます。詳しくは、蔵富人の阿部さん(☎090-2727-5319)までお問い合わせください。

## 新緑の白石城で伝統文化のひととき 白石城本丸で「城の会」

5月16日、白石城本丸で33回目となる「城の会」が開催され、訪れた多くの皆さんが新緑の白石城とともに箏曲や仕舞、謡曲、日本舞踊、居合などの伝統芸能と野点を楽しみました。今年は市内外で活動する8団体のほか、白石高等学校の茶道部や箏曲部も参加し、日ごろの練習の成果を発表しました。

同会の矢ノ目浩孝会長は、「これからも白石の文化発展のために貢献したい」。風間市長も「伝統文化を大切にしていきたい」とあいさつし、文化を受け継いでいくことの大切さを話しました。



▲山田流鎌田佐美音白石教室の皆さんによる箏曲「雨の詩」

## ぬくもりを感じる作品が勢ぞろい 壽丸屋敷で第6回手づくりの市



▲お客さんとの会話も楽しみのひとつです

5月29日・30日の2日間、壽丸屋敷で6回目となる「手づくりの市」(同実行委員会主催:立田佐代子委員長)が開催されました。

市内のサークルや講座などで活動する皆さんが、手づくりアクセサリーや小物、お菓子などを持ち寄り展示・販売するこの催し。今年は市内の7団体1個人が参加し、2日間で約1,300人が訪れました。また、回を重ねるごとに市外から訪れるお客さんも増えてきました。

ぬくもりあふれるすてきな作品を前に、お客さんと作者の会話も弾みました。

## 学校と地域とのつながり 真心込めた「孫の手」を贈呈

5月30日、白川小学校で「白川地区敬老会」が開催され、白川中の生徒から喜寿と米寿を迎えられた方々に孫の手がプレゼントされました。

この孫の手は、白川中の全校生徒42人と教職員8人がモウソウチクを加工し、一つ一つ手作りのものです。この日は孫の手以外にも、白川小の児童と白川中の生徒から感謝の気持ちを込めた手紙、白川保育園児の踊り、白川中の生徒の合唱や踊りなども披露されました。敬老会参加者は、真心がこもった数々のプレゼントに喜びの笑みを浮かべていました。



▲孫の手に込めた感謝の気持ちが贈られました

## 教訓を備えに生かす 白石市総合防災訓練



▲参加者約840人の炊き出しを実施

6月6日、白川中学校で「白石市総合防災訓練」を実施しました。

32の訓練種目に、白川地区の皆さんをはじめ、42の訓練参加機関や協力機関、団体から約880人が参加しました。参加した白川地区の皆さんは、避難訓練後、倒壊したブロック塀や建物からの救出・救護訓練、消火訓練などに参加し、防災訓練の主役として真剣に取り組んでいました。この訓練を通して、日ごろからの防災への備えをいざというときに生かし、災害に強いまちづくりを目指していきましょう。

## 元気な成虫になあれ! 北保育園にカブトムシの幼虫を贈呈

5月24日、社会福祉法人白石陽光園「通所施設とも」の職員と利用者が北保育園を訪れ、カブトムシの幼虫30匹を園児たちに贈呈しました。園児たちは幼虫の姿を見ると、「本物だあ」などと歓声を上げて喜び、育て方などの話を真剣に聞いていました。

同施設では平成18年から、シイタケ農家から古くなったほだ木を譲り受け、保育園や小中学校などに約200匹の幼虫を無料で贈呈しています。伊藤暢夫施設長は、「カブトムシをきっかけに地域の方々とのつながりがありました。これからも続けていきたいです」と笑顔で話しました。



▲カブトムシの幼虫を見ようと身を乗り出す園児たち

## 雄大な自然を満喫し、心も体もリフレッシュ! 七ヶ宿ダム周辺で「しろいし健康ウォーク」を開催



▲終了後、材木岩公園で記念撮影

5月22日、七ヶ宿ダムとその周辺で、市民の健康増進を目的とした「しろいし健康ウォーク」を開催しました。

今回のウォーキングには、市民83人と、神奈川県海老名市の市民団69人が参加。総勢152人が、新緑に包まれた七ヶ宿ダム湖の自然を満喫しながら、約7キロのウォーキングを楽しみました。終了後は、材木岩公園で昼食を楽しんだ参加者たち。60代の男性に感想を伺うと、「好天に恵まれ、気持ちよく歩くことができました。秋にも開催されると聞いていますので、また参加したいと思います」と元氣よく答えてくれました。